

昭和57年5月1日 第 26 号

発行 守谷町議会
編集 守谷町議会事務局
TEL 02974⑧1441(内56)
北相馬郡守谷町大字守谷甲631~1



予算特別号 もくじ

- ①ページ 第1回定例会の概要
- ②ページ 予算の概要
- ③ページ 57年度施政方針
- ④ページ 町政に関する一般質問
- ⑤ページ
- ⑥ページ みなさんから出された
請願・陳情ほか



ピカピカの一年生(御所ヶ丘小)

昭和五十七年第一回定例会が三月十一日から二十日まで会期十日間で開催されました。今回、町長から提出された議案は昭和五十七年度予算を初めとする二十四件で、初日の本会議では、町長の施政方針演説に引き続き全案件が上程されました。

これらの議案は審議の結果、すべて原案どおり可決されました。また、三月十七日、十九日には町政に関する一般質問が行われ、五名の議員が登壇、質問しました。

第一回定例会 議決内容

● 守谷町公害防止条例に基づく報告

昭和五十六年度の公害の状況とその講じた施策の報告。

● 守谷町都市公園条例の制定

守谷町の都市公園が四月に一部供用開始されるに併せてその管理に必要な事項を定めるものです。

● 守谷町住宅新築資金等貸付事業調整基金条例の制定

貸付けの償還金の支払いの円滑化を図るため、法律に基づき設置するものです。

● 守谷町職員及び特別職の給与等の条例改正(二件)

人事院勧告による給与条例の改正と、公民館長の報酬等を定めるための条例改正です。

● 守谷町立学校設置条例の一部を改正する条例

北団地内の御所ヶ丘に建設中の小学校を正式に御所ヶ丘小学校とするものです。

● 守谷町公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

中央公民館の館長任用に関

予算議会を終えて

守谷町議会議長
中村 力

町民の皆様には日頃議会活動に對して御協力いただき、深く感謝申し上げます。

五十七年第一回定例会も去る三月二十日をもって終了いたしました。苦しい財源の中とは言いがながら、一般会計予算は前年度に比べ一八%も増えています。

内容的に見てみると、歳出面では教育費と土木費が圧倒的に多く総予算の六一%余を占めています。しかし、教育費の中でも校舎、体育館など建設費が多く、教育の要となる教職員の質の向上、校内暴力の対策費、心と体のバランスのとれた児童生徒の育成などに必要

し、常勤、非常勤いずれにおいても運用出来るよう条例の整備をするものです。

● その他の条例改正(四件)

○ 守谷町公共下水道条例の一部を改正する条例

○ 守谷町国民健康保険条例の一部を改正する条例

○ 守谷町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

○ 守谷町水道事業給水条例の一部を改正する条例

○ 水道料金の改正と公団、三井に使用するメーター使用料の追加です。

についても再考する必要があると思

います。一般競争入札制度などの検討や一括入札をさせて数多くの業者に公平、正当な競争をうながすことによって少ない経費で最大の効果を上げることが出来るのではないのでしょうか。もちろん年間に何億もの経費が切りつめられるということは言うまでもありません。これら浮かされた財源は要求の高所に配当することが出来るのではないのでしょうか。

私達議会人はそうした執行者である町長の施政の実践を住民の立場から監視をし、予算の順当な消化を見守って行きたいと考えます。

最後に、新しい五十七年度予算の執行と同時に、守谷町の新しい住民となられた方々を心から歓迎申し上げますと同時に、早く、守谷の「郷」になじんでいただくようお願い申し上げます。

● 昭和三十六年度各会計補正予算(四件)

○ 一般会計補正予算

補正総額二〇五五万円の減額補正と地方債の補正で、職員給与改正と補助金の確定による組み替えが主なものです。補正後の金額は四四億四六一万二〇〇〇円です。

○ 公共下水道事業特別会計補正予算

補正総額四億二六七〇万円の追加で、継続費の増額、債務負担行為の廃止及び地方債の減額が主な補正の理由です。

○ 国民健康保険特別会計補正予算

補正総額五四六七万円の減額で人件費の増と、医療費の減少による減額が主なもので補正後の金額は五億六六九八万円となりました。

○ 水道事業会計補正予算

収益的収入、支出で人件費の増と減価償却費の増、資本的収入、支出で事業計画の見直しによる工事費と工事負担金の減額が主なものです。

● 委託変更契約の締結(三件)

いずれも先に委託契約したものである。

○ 南守谷地区公共下水道施設用道路の設置事業

○ 北守谷地区外汚水幹線管理用道路の設置事業

○ 公共下水道浄化センター建設事業の場内整備工事

● 町道路線の認定(一件)

● 町道路線の変更(二件)

効率的な財政運営に努めよ

80億7千万円もの予算

— 予算概要 —

町政の向う一年間の仕事の計画書——昭和五十七年度各会計予算が成立いたしました。守谷町の予算総額は、八〇億七千九百九十九万〇〇〇円で各会計予算額は下表のとおりです。

一般会計の予算の規模は、総額四五億七千四百万二〇〇〇円で、前年度当初予算と比

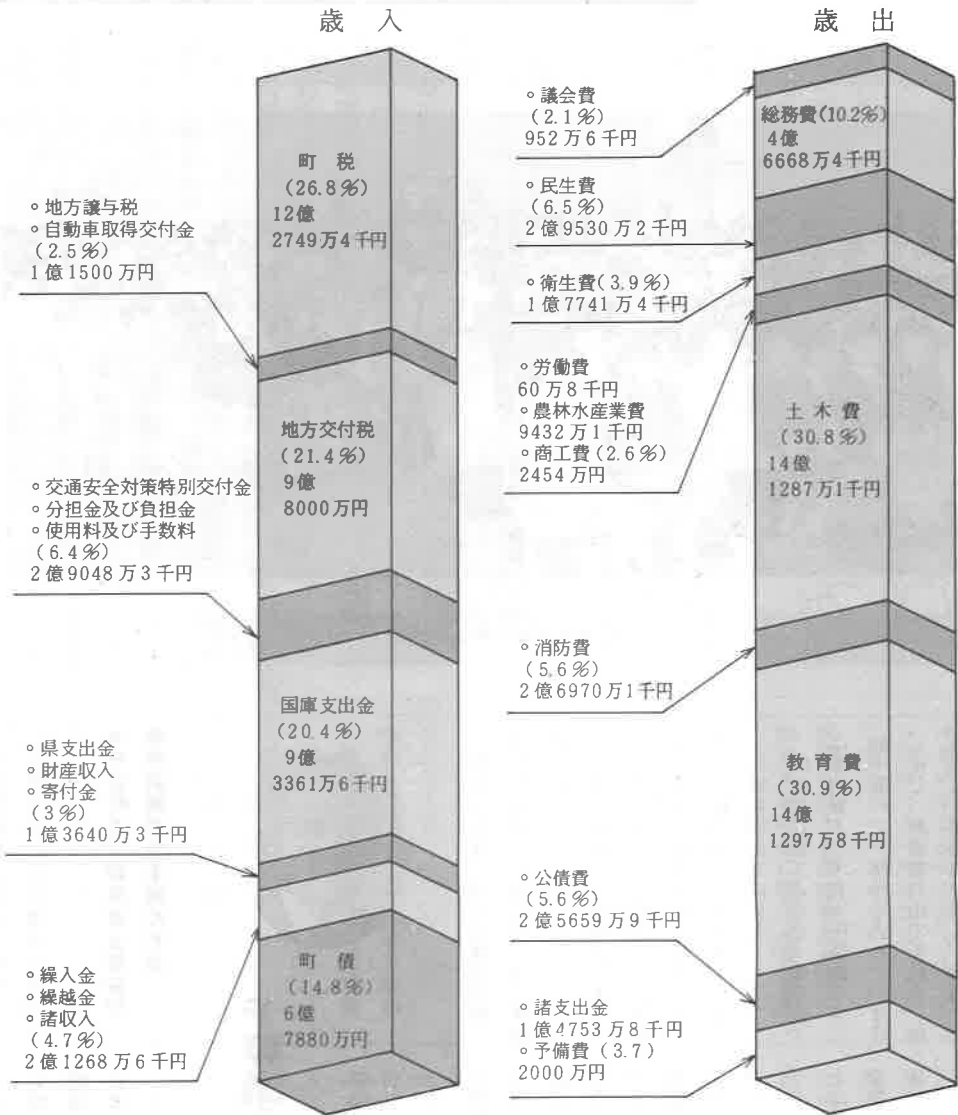
べた伸び率は、一八％になっています。

歳入を性質別に分けてみると、町税においては五十六年度より一五・二％の伸び、地方交付税は九億八〇〇〇万円、二四・八％と大幅に伸びています。これは、人口急増に伴っての財政需要の上昇によるものです。

歳出については、今年度より計画された北守谷団地、三井団地の入居など多様化する行政需要の中で財政需要の増大は明白であり、限られた財源を効率的、重点的に運用すべく経常経費の節約がされています。

構成比で見ると、土木費で三〇・八％、教育費で三〇・

九％とその大半を占めています。総務費では一〇・二％、民生費六・五％となっています。前年度に比べ教育費が一四億一二九七万八〇〇〇円と二倍以上に上昇しております。また、普通建設事業費が全体の四八％、他会計の繰出し金が三五・八％を占めています。



一般会計歳入歳出総額 45億7448万2千円

一般会計	45億7448万2千円	下水道会計	17億9660万1千円
国保会計	5億3952万6千円	水道事業会計	11億6459万円

17億9千万円 下水道予算

公共下水道事業特別会計予算の総額は一七億九千六〇〇万〇〇〇円で前年度より四六％の減額となっています。これは、公団関係の諸事業が一部完了したためのもので町関連の事業については一億円の増となっています。

未給水地区の整備が主「水道」

水道事業については、本年度より未給水区域の整備計画を推進するため、大山、板戸井、大木地区の工事に着手する運びとなりました。

収益的収入一億七〇七二万〇〇〇円、収益的支出二億五四四万六三〇〇〇円、差額は内部留保資金で補てんし、資本的収入八億七五八八万円、資本的支出九億一〇一二万七〇〇〇円、差額は内部留保資金で補てんするものです。

健康管理が きめて「国保」

国民健康保険特別会計予算については、総額五億三九五二万六〇〇〇円で前年度に比べ四・九％の減となっています。

歳入の主なもの、国庫支

「町民の知る権利」
議会を
傍聴しましょう
定例会は—
3・6・9・12月

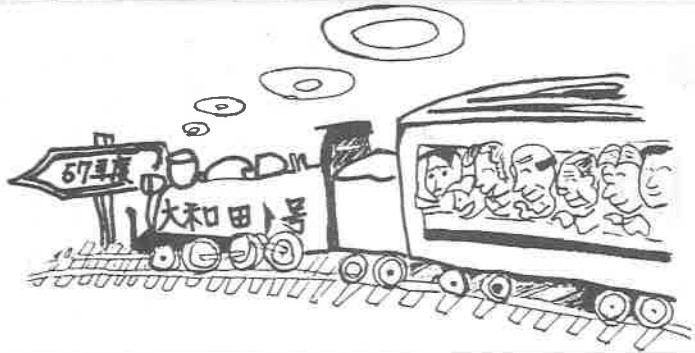
出金二億六二二万二〇〇〇円(四八・六％)、保険税二億二九二万六〇〇〇円(四二・五％)、繰越金四一九九万一〇〇〇円(七・八％)が主なものです。

歳出については、予算総額の八九・三％を占める保険給付費四億八二四万四〇〇〇円で前年度より七・七％の減となっています。総務費は二三四万九〇〇〇円です。

始動するまちづくり

昭和57年度 施政方針演説

大和田町長



私は、町長就任以来「真に明るく健康で住みよい町づくり」のため、町民の「対話と参加」により多様化するさまざまな要請にこたえきめ細かに、町民の一人一人が充実した生活ができる活力に満ちた潤いのある地域社会づくりを進めていくことを念願としてまいりました。

ご承知のとおり、本町が首都圏近郊整備地帯として「人口急増傾向」にあります。本年四月から住宅都市整備公団による北守谷団地及び民間宅地開発に伴う新しい住民が守谷町民として入居してまいります。

更に、南守谷団地の区画整理事業等宅地造成工事もすすめられております。こうした情勢のなかで新大和根有料橋の開通、常盤道の供用区間の延長、常盤線の複線化等の実施により各方面にわたり大きく発展しようとしております。

こうした地域情勢を的確に把握し、将来に悔いのない町づくりをするために振興計画に基づき情勢の変化に対応した表現を図ってまいりたいと考えております。

下水道の整備促進をはじめ、道路交通網の整備、県立高等学校が五十八年四月に開校決定されております。特に人口増加によって学校教育施設の充実が急務と考え、関係者のご協力とご理解を得ながら推進してまいりたいと考えています。

昨年完成された中央公民館の利用活動によって社会教育、文化向上のために大きな役割と成果をみる事ができました。また、年々

計画されてきた諸事業が逐次整備されましたが、さらに将来の町発展の基礎づくりのため積極的に事業実施に取り組んでまいります。

一方財政は、国及び地方を通じて極めて厳しい状況であり、赤字に悩む国の財政は景気の推進拡大に努めるとともに抜本的な行財政改革を基本とする財政再建を推進し、財政の対応力を速かに回復することを緊急の政策課題としております。

本町においても税収の大幅な伸びを期待することは困難である反面、住民からの多くの要望にも適切に対応していかねばなりません。このためには健全な財政の確立が必要であります。こうした中で行財政の「見直し」「合理化」等を積極的に図る必要にせまられておりますので、行財政の効率的運用に努め、期待される役割に的確に対応し得る体制を整え住民の信頼を得ることが重要な課題であります。

昭和五十七年度の予算編成に当たっては、国・県の基本的な考えを組み入れ、生活環境の整備、教育の振興、健康増進等を中心に投資的経費の拡大を積極的に図るため財源の確保と一般行政経費の節減合理化に努め、重点的かつ効率的な配分を基本とし、財政運営を心掛けた予算編成をいたしました。

一、生活基盤を整備するための施策

(一) 水道事業

全地域（簡易水道地区を除く）を対象とする供給計画を樹立します。計画人口増加に対応するため

県南広域水道事業による表流水がいよいよ流入を見るに至りましたが、これらに伴い事業の推進はかかります。



(二) 公共下水道

浄化センターの処理開始二年目をむかえ年次計画に基づく面整備事業を実施します。宅地造成による入居開始に伴い処理機能の維持管理を効率的に運営してまいります。

(三) 道路公園の整備と管理

主要道路の改良、街路の用地買収及び改良工事、開発区域内の街路、公園の一部町移換に伴って管理体制の強化と効率的な運営を図ります。

(四) 安全計画

○消防施設の充実と技術の高揚をはかるため操法訓練、規律訓練など実施し団員の質の向上に努めます。さらに、広域消防署との緊密なる連携のもとに町民の生命財産を守るよう努めます。

○交通安全対策については、地域住民総ぐるみによる交通事故防止運動により意識の高揚に努め、歩道橋の整備と相まって児童・生徒の交通事故防止の施策を行ってまいります。

二、教育文化を高めるための施策

学校教育の重要性と人口増加に対応するための施設の整備、教育の振興に努めます。

中学校の増設工事、北団地内に小学校の新規開校、小学校の屋内体育館を二校分建設してまいります。

社会教育振興と文化向上を図るため中央公民館等の充実と活動を通して振興をはかります。

学校給食人口の増加に伴い施設の充実をはかるため運営の改善等を検討し、衛生管理並びに児童等の体力づくりに留意します。



三、産業振興と農村集落環境整備の施策

(一) 水田再編対策に伴う転作可能な土地基盤の整備を推進し条件を整備を考えます。

(二) 集落環境整備をはかるため引き続き田園都市建設事業の推進と都市化の調和をはかりながら農村集落センター等の整備を考えます。

(三) 商工業の振興施策

産業構造基盤の充実をはかることが急務とされるので、健全な経営能力を有し公害のない工場の誘致をはかるため工業団地造成計画を推進したいと考えます。さらに人口増加に伴う商工業経営の近代化をはかるための融資による利子補給と資金借入額の増加による町の出えん金の増額を考え中小企業の育成と商工業の振興をはかりたいと考えます。



四、福祉と健康を守るための施策

(一) 健康管理

定期健康検診を強化し、定着しつつある各種予防対策を積極的に進めます。長い実績の効果と思われる診療費の鈍化がみられる本町の特性を更に健康管理の行政指導を行い健康で幸せな生活ができるよう努めます。また、町民体育祭を計画し、体育の増進をはかりたいと思えます。

取手、北相馬保健センター開設に伴い更に地域医療により健康で

明るい町づくりに寄与してまいります。

(二) 老人医療と生きがいと幸せを高める社会福祉の増進、高齢化の増加に伴って老人の意識の高揚とたのしみながらできるスポーツ等を通して健康管理をしながら老人医療費の軽減と生きがいのある健康で幸せな生活ができるよう努めます。引き続き障害者に対する理解を深めると共に障害者自らも自分の力で社会に参加する意欲を高めることが基本と考えますので、ハビリー対策を行います。

(三) 乳児幼児施策の充実

保育所設備の充実をはかり勤務の向上により生活の安定を図りたいと考えます。

五、行財政を合理化するために

本町は首都圏のベッドタウンとして急速に人口の増加が推定され年次計画により諸事業の整備を進めてまいりました。四月からその計画の第一年度入居が始まり事業の完成と相まって行政需要の多様化と公園管理等新しい行政サービスが増加してまいります。更に維持管理面でも現人口二万人に及ばない町の規模で大きな事業を実施してまいります。

職員の増員を極力最小限度にとどめなければならぬ現状から創意と工夫により合理的な職員の配置により町民の福利増進と行政サービスの向上を図りたいと考えます。

このため研修による質的向上と常に綱紀粛正に努め事務の効率的な運営をはかってまいります。

一町民と共に考える行政一

一 般 質 問

(3月17・19日)



第一回定例会における一般質問は、去る三月十七日、十九日の二日間にわたって行われました。今回の通告者は、瀬尾議員、浅野議員、倉持議員、久保宮議員、岡田議員の五名で、予算審議中であり、財政問題、特に財源の確保について質問が集中しました。

第一回定例会

社会情勢の変化に的確に対応した行政を

五名登壇

- ・藤代、板戸井、岩井線の早期整備を
- ・空カンの不法投棄をなくせ
- ・工業団地・企業誘致の促進をはかれ

瀬尾議員 道路行政に関して

次の点で伺いたい。

①県道藤代、板戸井、岩井線については、一部曲部の改良工事が行われているが、依然として道路の幅員が狭く危険の多い道路である。昭和五十八年には県立高校も開校の予定であり、この道路の早期整備を望むかどうか。

②広域のゴミ処理施設が設置

された時から道路の整備が要望されていた都市計画道路(北園、野木崎線)について、用地買収が思うように進んでいないらしいが、現在までの経過と今後の考え方を伺いたい。

町長

①この道路については高野地区、大木地区、西板戸井地区が早急に道路整備される予定になっており、一部整備された所もある。しかし、幹線道路であるこの道路は危険箇所が多く残っている。今後、精力的に県に対して働



町内いたる所に空きカンの不法投棄が……

きかけて行くつもりです。

②北園、野木崎線については、広域のゴミ処理場が出来た時から道路整備促進方を陳情している。また、この道路は科学博関連事業でありましたが、五十七年度から一般事業になつてしまつたため予算的にもきびしくなつて行くつもりで継続的に要望して行くつもりです。

瀬尾議員 現在、国会等でも

問題になっている空きカンの不法投棄についてですが、守谷町ではどのような姿勢で、あるいは対処をしているのか。また、資源ともなる空きカンの不法投棄の防止条例の制定についてはどう考えているかお尋ねしたい。

町長

空きカン不法投棄の問題については、守谷町ばかりでなく、茨城県、国、さらに製造業者にと拡大し、全国的な規模で防止運動を展開しなければならぬと思う。条例の制定については、国、県の考え方に同調して行きたい。

瀬尾議員

現在、守谷町は年々人口が増加しており、住宅

常総ニュータウンと守谷町の防災

(消防、交通、水害等)

町と財政確保のための工業団地

(公共施設完成までの財源)

浅野議員

常総ニュータウン

と守谷町の防災について次の点で伺いたい。
①常総ニュータウン、あるいは、三井団地内などの防災については完全に整備されているが、既存の地区についてはまだ未整備の所が多くみられる。これら未整備地区についての防災体制について町長はどう考えるか。

町長

②当初二市二町二村で発足準備していた広域消防が一市一町一村で発足し現在に至っている。公団が入居開始となり諸設備整備のために市町村の

都市整備公団等により「住」

の確保はされているが、働く場所である工業団地、工場誘致がされていない。これらについて、今までの経過と今後の計画について伺いたい。
企画財政課長 工業団地の開発については、町単独では財源的にも無理であると考えられるので、町と県、住宅・都市整備公団が一体となって事業を行いたいと考えています。今年、公団で工業団地について取り上げられ、条件調査に入るような段階であるとのことです。

町長

今後、町も産業基盤の確立に全力をかためて行かなければならないと考えます。

浅野議員

現在、常総ニュータウンの道路は幅員も広く、完全舗装され整備されているが、現在の既存の住宅地については消防車も入れないような道路が多くある。これらについて改良して行く考えがあるか伺いたい。

町長

①都市計画法の規制を受けずに開発された地区については未整備の地区が多い町としては、町単独の防災体制を取って、出来るだけの



一部入居が始まった北団地

浅野議員

南北両団地公共施設完成までに必要となる金額はいくらか。また、それらの財源確保のために、現在の通称「愛宕割」の地区の工業用地としての早期整備と工業団地の促進についてどう考えるかお伺いする。
企画財政課長 計画人口四万九〇〇〇人に及ぶ人口増に対応する公共施設は、北団地で三四〇億程度と推計している。その内、国が負担で、現時点の町の償還額は八七〇〇万円になっています。

町長

指摘のあった地区は工業専用地区で、現在何社か営業している。しかし、あの地区については民有地であり、以前にアンケート調査をした結果では必ずしも良い結果ではなかった。今後は一層、精力的に地権者に働きかけ優良企業の誘致をはかって行きたい。

浅野議員

現在、常総ニュータウンの道路は幅員も広く、完全舗装され整備されているが、現在の既存の住宅地については消防車も入れないような道路が多くある。これらについて改良して行く考えがあるか伺いたい。

町長

①都市計画法の規制を受けずに開発された地区については未整備の地区が多い町としては、町単独の防災体制を取って、出来るだけの

利根左岸溢流堤建設における家屋移転

・二九四号線の早期整備を願う

・今後の町の農政の進め方を問う

倉持議員

利根左岸の溢流堤建設に伴い家屋の移転を余儀なくされた方々のうち、三世帯が移転先の決定がされていない。その方々に対し、町は移転先の斡旋をすべきだと思ふがどうか。また、溢流堤工事の進捗状況を伺いたい。

町長

家屋移転問題については、三世帯のうち二世帯については決定し、残りの一世帯も現在、協議中です。今後、町としても協力して移転先の斡旋をして行くつもりです。また、工事関係については建設省に説明会を開催してもら

い、地元の了承を得て早急に着手してもらおうと要望している。

倉持(清)議員 南守谷地内の二九四号線は、大きなカーブがあり、加えて通学路になっているにもかかわらず側溝にフタがされていない。歩行者擁護の立場からも早急に整備してもらいたいだろうか。

町長 当初二九四号線は拡幅される計画だったが、その見通しがついていないので今度は、現況のまま整備するよう建設省に要望したい。

建設課長 指摘のあった地区については、一部歩道が整備されており、未整備の所は公団区域に入るため、公団の計画に合わせて道路も整備されることになっていきます。

倉持(清)議員 五十七年度の予算に町民体育祭に関する予算が計上されているが、この体育祭の具体的内容、方法について伺いたい。

教育長 五十七年度に初めて実施する事業ですので、過去に実施した市町村を良く調査研究し、また、新旧住民のコミュニケーションの場とするよう努力したいと考えます。

倉持(清)議員 守谷町の中央公民館も開館して一年が経過し、利用度も増えていると思うが現在までに運営上の問題点があったかどうか伺いたい。

また、公民館の駐車場において盗難等が発生しているので管理の点について十分注意し

てもらいたい。

教育長 現在、公民館の利用度は逐次増えています。しかし、地域的、年令的にむらがあるように感じられるので、今後は広報、パンフレットを配布し、多くの人に利用してもらおうよう努力する。

倉持(清)議員 常総地方広域市町村圏事務組合の老人福祉費等の負担金が増額されているが、負担金の算出基礎、あるいは、加入組合の負担割についてもお尋ねしたい。

企画財政課長 広域の負担金増については施設の老朽化、諸物価の高騰などの理由が上げられる。また負担金は、管理者会議、組合議会、担当者会議等を経て決定する。さらに老人福祉センターの負担割合については、均等割二〇〇%、人口割四〇%、応益割四〇%となっております。

倉持(清)議員 現在、守谷町は



歩道の整備が望まれる294号線

宅地開発等がさかんに行われ優良農地が失われつつある。施政方針に「都市と緑が調和する田園都市建設」とあるように、これからの町の農政問題についてどう考えているか伺いたい。

町長 減反対策が取られていて

学校給食について ・第二給食センターの建設はいつ？ ・おいしい給食をめざし研究をせよ

久保宮議員 学校給食について次の点で伺いたい。

①学校給食共同調理場は、二〇〇〇食を目標として建設され、改善に改善を重ね、現在六校分の給食を賄っているが、今後、御所ヶ丘小、仮称第二守中が開校される予定であり今の施設では不十分であると思う。第二調理場の建設が急務だと思いがどうか考えるか。

②守谷町の給食はどのような点に留意してつくっているか伺いたい。

③行政改革が全国的に叫ばれている現在、共同調理の委託いわゆる給食の民間委託について町長はどのように考えているのか。また、給食センターで使われている食器洗い等の洗剤についてどのようなものを使用しているかお尋ねする。

町長 ①確かに将来に向けて現在の場所では狭あいになって来ると思うが、なるべくな

る現在、これからの農政問題は前途多難である。しかし、それを放置しておくわけには行かないので、後継者の育成あるいは、集約農業、農業技術の近代化という点に力を入れ、関係機関と一緒に研究、実施して行きたい。

町長 減反対策が取られていて

行財政改革と町の対応について ・庁舎建設はいつになるのか ・水道事業の健全経営を望む ・ホームヘルパーの待遇改善を願う

岡田議員 国では、臨時行政調査会において、今後の国のあり方、さらに国・地方を通じての行政制度、運営について検討されているが、行政改革の内容を今後、町長はどのように対処して行くのか。また、この行政改革に伴って、住民福祉の効率化、教養文化の高揚、役場の機構組織の見直しを考えているのかどうか伺いたい。

町長 今後、新住民が増大してくることは確実であり、それに伴って行政需要も増大してくるが、財政が追いついて行かない。したがって町もこのような面を考慮して財政を見直す時期に来ていると思う。特に役場の機構問題、経費の節減ということを重点的に考えて行きたい。

岡田議員 現在の守谷町は人口が急増しており、昭和六十年には約四万一千人の人口となり、職員数も四百人から必要となってくる。さらに振興計画においても庁舎建設については積極的に進めると明記されており、住民の福祉向上サービスという点からも新庁舎建設については考慮すべきと思うがどうか。また庁舎建設に関する財源についてもお

尋ねます。

町長 本庁舎も狭あいになり、事務執行に支障をきたし、外部の方に迷惑をかけているのが現状です。町としても、新庁舎の建設については、準備段階に来ていると思う。今後教育施設、幹線道路などの目途がついた時点で本格的に考えて行きたい。



職員も年々増え狭あいとなった庁舎

企業経営の健全化を図るためということ、今回提案されているが、料金改正の前に水道事務所の機構、その他合理化について、どのように考えているのか、また四月には公共料金等も値上げされるような状況の中で、五十パーセントの値上げは妥当なものか。

水道所長 現在までは、公団あるいは、民間開発業者の負担金等があり、水道運営はスムーズに行っていたが、水道事業の拡張及び機器の減価償却がされて来ており、加えて県南広域水道用水の供給を開始するため、六十年年度まで累積欠損額は、六億六千万余を生ずることになるため、この料金改正に至った。また、五十パーセント値上げについては、水道運営協議会にはかり、慎重審議を経て決定したものである。ので妥当ではないかと考える。

岡田議員 昨年、守谷町補助金交付規程が告示され、補助金の見直しがされることは時代に合ったものだと思うが、今年度の補助金について昨年度と比較して新規の団体、また、補助金を返還する団体があったのか。さらに今年度の予算において補助金の額はどのようになっていくかお尋ねしたい。

企画財政課長 五十七年度始めて補助団体から書類を徴収して検討した。新規団体については学校関係のもの一件です。廃止についてはありません。

岡田議員 水道事業について次の点で伺いたい。

水道料金の値上げについて

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、

町長 水道事業については、



大正時代に建てられた守谷駅舎

ん。補助金の額については前年度と同様で、子供会関係だけが増額になっています。いずれにしても、必要と認める団体には多くという考え方で決定しています。

岡田議員 安全対策について次の点で伺いたい。

- ①「緑のおばさん」等を中心とした交通安全対策協議会の再設置についてどう考えるか。
- ②安全第一を旨として住民の希望なり、条件等を実現するために町長は今後どのように推進して行くのか。
- ③常総線の守谷駅改設についてはどのように考えるか。また、高野地区のバス路線新設についてもお尋ねする。

総務課長 交通安全対策協議会は現在、自然消滅となっている。県では、協議会のほか交通安全対策協議を設置されているので、町としてもこれらについて今後、検討していくつもりです。

町長 ②交通の安全対策については、施設の整備ももちろんだが、それ以前にモラルの問題が出て来ると思う。今後あらゆる方面の団体を通して指導・教育して行きたい。

③今の関鉄の状況から見て他の財政負担がなければ駅改設は望めないと思うが今後とも関鉄に対し要望はして行くつもりです。高野地区のバス路線については、県道の整備がされた時点で考えて行きたい。

岡田議員 守谷町には現在三名のホームヘルパーが寝たきり老人、あるいは一人暮らしの老人等に対し奉仕作業を行っているが、それらの方々の報酬が近隣市町村にくらべてあまりにも少ないように思う。社会的弱者擁護という観点に立って考えても、もう少し配慮する必要があると思うがどうか。また、ヘルパーの身分についてどうなっているかお尋ねする。

住民課長 ヘルパーの賃金については、江戸崎の福祉事務所所の指導あるいは他市町村と協議し、総務課と相談のうえ決定しています。また、身分については、一般職員と同じような扱いで一年に一度辞令を出しています。

町長 弱者救済、必要な、きわめて重要な部門においては出来るだけのこととはしたいと考えている。実態を良く把握して検討する。



みなさんから出された 請願・陳情

今定例会に提出され、審議された請願・陳情等は、要望書一件、陳情書三件で、それぞれの委員会に付託され審議されました。内容は次のとおりです。

◎昭和五十七年度有線放送に対する補助金に関する要望書
守谷町有線放送組合長理事より提出されたもので、内容は、地域共同社会の公益的施設として活動している有線放送に対する昭和五十七年度の補助金を三〇〇万円としてもらいたいたいというもので総務委員会に付託され採択と決定いたしました。

◎老人保健法案の廃案を求め意見書提出に関する陳情書
老人保健法案を廃案にさせ福祉の一層の拡充と負担軽減の実施について意見書を提出してもらいたいという内容のもので、茨城県保険医協会会長ほか四団体から提出されました。この件について総務委員会に付託され採択と決定いたしました。

◎軍事費と大企業向け優遇措置を削って、国民本意の行政改革、大幅減税について、政府に対し意見書提出を求める陳情書
「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動茨城県実行委員会から提出されたもので総務委員会において慎重審議された結果

核兵器の全面撤廃と軍備縮小の推進に関する意見書(要旨)

瀬尾高四郎議員の提出で賛成者五名連記で本会議に提出され、可決されました。世界の恒久平和は人類共通の願望である。しかし、核軍備拡大競争は依然として続けられ、通常兵器の軍備拡大競争も一段と激化し、世界の各地で武力紛争や戦争の絶えまがない。

わが国は、世界の唯一の核被爆国として、また平和憲法の精神からも核兵器の全面撤廃と軍備縮小の推進に積極的な役割を果すべきである。

こうした立場から政府に対し、次の諸点を積極的かつ誠実に実行するよう要請するも

継続して審議する必要があるとのことで継続審議となりました。

◎鈴塚部落内、子供遊園地、共同墓地に至る道路舗装に関する陳情書
鈴塚部落長より提出された陳情書は、子供遊園地の道路及び共同墓地に通ずる道路に関するもので、いずれも町道までの連絡道路の舗装を要望するもので、建設委員会に付託され、財源があれば早急に整備すべきとの結論で採択と決定しました。

防止など具体的措置の実現のために努力すること。一、国連を中心として各国とも協力し、核兵器の全面撤廃と軍縮をめざし、国際連帯の反核兵器世論の喚起に努力すること。以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

去る二月二十四日、ガン性腹膜炎のため逝去されました。氏は、昭和四十七年三月、町議会議員に当選以来、三期、十年に及び町政に参加し、その間、建設常任委員会副委員長、及び同委員長を歴任し、五十一年からは広域議会の議員として活躍されました。



大久保輝夫

去る二月二十四日、ガン性腹膜炎のため逝去されました。氏は、昭和四十七年三月、町議会議員に当選以来、三期、十年に及び町政に参加し、その間、建設常任委員会副委員長、及び同委員長を歴任し、五十一年からは広域議会の議員として活躍されました。

今年もまた大型連休がやって来ます。例年四月下旬から五月上旬にかけて「民族の大移動」といわれるほど多くの人が旅行に出かけますが、オイルショック以来、観光旅行は低調とか。近年の特長として「独身貴族」と言われる若者は海外旅行に、また、家族でのんびり過す、ふるさと旅行が流行しているということです。

季節の話題
抜けるような青空、さんさんと降りそそぐ日の光、頬をなでるかぐわしい風、どれをとっても明るいのが五月。移動性高気圧と低気圧が交互に通過し、そのたびに天気が変わった四月と異なり、この頃になると天気の周期性も顕著でなくなり、時には移動性高気圧がゆっくり東進してよい天気の日が続く静穏な季節といえます。

「山菜狩り」 野山に自生している所有権のない野草に高いお金を出して食べるなどというのは全くもったいないことです。ちよっと足をのびし、多少の知識があれば誰に遠慮することなく、タダで自然の恩恵を受けられるのですから今年はいかに野草を採り、本当の自然食品で食卓をにぎわして下さい。

◎訂正とお詫び 前号の「昭和五十六年度一般会計決算」の表に誤りがありましたのでお詫びいたします。

誤り 歳出予算額に対する差額の割合
正 支出済額の合計に対する割合
また、金額については円未満四捨五入いたしました。

編集後記

◎訂正とお詫び 前号の「昭和五十六年度一般会計決算」の表に誤りがありましたのでお詫びいたします。

誤り 歳出予算額に対する差額の割合
正 支出済額の合計に対する割合
また、金額については円未満四捨五入いたしました。